

「大学探しナビ」で
大学資料を一括請求



名古屋外国語大学

〒470-0197 愛知県日進市岩崎町ノ山57 入試広報室 TEL 0561-75-1747(直通) (HP) nagoyagaidai.com(受験生サイト)

配布開始 5月上旬 料金 無料

TOPICS

■2027年4月より新たな学部・学科・専攻が誕生！

- 外国語・教養・専門性をひとつに調和させ、新時代の「グローバル人材」を育成します。
- “留学費用全額支援”制度
留学先授業料、渡航費、居住費、教科書代、保険料、留学ビザ申請料を大学が支援します。
返還不要・対象人数の制限なし（大学が定めた語学試験・GPAの基準を満たすことが条件です）
- 中部地区トップクラスの外国人教員比率を誇る“GLOBAL CAMPUS”
2025年度は27の国・地域から127人の外国人教員が在籍し、300人の外国人留学生を受け入れました。

大学GUIDE

名古屋外国語大学は、相容する世界に合わせ学びをアップグレードし、新たな学部・学科・専攻へと組織改編します。活発に変動する世界を捉えるための「幅広い教養」や「高い専門性」、外国語でのディスカッション・プレゼンテーション力や論理的思考力、物事に対する多角的な視点を身につける環境やプログラムにより、総合的知性を備えた「グローバル人材」を育成します。

「PUT(パワーアップチュートリアル)」

学生4人に対して外国人教員1人で行うALL ENGLISHの“超”少人数授業「PUT(パワーアップチュートリアル)」を全学部・全学科で1年次の必修科目として開講。英語で考え、英語で発信する力を身につけます。また、世界情勢や各国の文化などをテーマとし、国際感覚も磨くことで、長期留学や2～4年次の高度な語学力を必要とする講義に備えます。

世界教養プログラム

世界の多様な価値観を重視すべく、世界のさまざまな現状・現象・事実についての知識と教養を深める「世界教養プログラム」。「人文」「学際」「社会」の3つの分野60を超えるテーマ(科目)を選定し、学生個々の関心に合わせて学ぶことができます。また、一部の科目を英語開講授業とし、教養と同時に英語力も高めます。



■学部・学科組織(2027年度予定、仮称・設置構想中を含む)

- 総合英語学部^{*1}
英米語学科(英米語専攻220、国際英語コミュニケーション専攻^{*1}30、英語教育専攻50)
 - 世界教養学部
世界教養学科90 / フランス・ヨーロッパ学科^{*2}(フランス専攻35、ヨーロッパ専攻15) / 中国・アジア学科^{*2}(中国専攻35、アジア専攻15) / 国際日本学科50(日本発信専攻、国際発信専攻)
 - 地球社会学部^{*1}
英語キャリア学科^{*1}85 / グローバルビジネス学科85 / グローバル共生学科85 / 国際教養学科85
- ^{*1} 2027年4月名称変更予定(仮称・構想中)
^{*2} 2027年4月改組予定(仮称・設置構想中)
名称・内容はすべて予定であり、変更となる場合があります。

学科紹介

総合英語学部

〈英米語学科〉アメリカとイギリスを中心に言語や文学、芸術、社会などについて学び、異なる文化背景を持つ人々の考え方や行動様式について深く考えることができるアカデミックな英語運用能力を培う「英米語専攻」、高度な英語運用能力と異文化コミュニケーション、芸術・身体表現、メディア言語表現などを理論と実践の双方向から探究し、多様な人々との対話力と問題解決力を培う「国際英語コミュニケーション専攻」、最新の英語教授法を英語で学び、独自性の高い国内・海外研修プログラムを通してグローバル時代の英語教員に必要な国際理解力を培う「英語教育専攻」の3専攻体制を取ります。

世界教養学部

〈世界教養学科〉世界に軸足を置き、日本を含む世界諸地域の文化・文学・美術・音楽・政治・経済・宗教を学び、世界に存在するさまざまな価値観や視点に触れ、国や世代を超えて通用する“World Liberal Arts”を身につけます。また、英語だけでなく複数の言語の習得にも力を入れ、その国や地域の言語で自分の知識や考えを発信できる力を磨きます。

〈フランス・ヨーロッパ学科〉フランスの言語・文化・社会について学ぶとともにフランス語圏へと展開するビジネスに関する実践知を養い、教養力とフランス語コミュニケーション能力を培う「フランス専攻」、フランス・ドイツ・イタリアなどEU圏の言語・文化・芸術について学ぶとともに英語力を鍛え、政治、社会、ビジネスに関する実践知を養い、教養力と総合的なコミュニケーション能力を培う「ヨーロッパ専攻」の2専攻体制を取ります。

〈中国・アジア学科〉中国の言語・文化・社会について学ぶとともに中国語圏や東南アジア圏の国際政治の諸問題やビジネスに関する実践知を養い、教養力と中国語コミュニケーション能力を培う「中国専攻」、韓国・言語・文化・社会やアジア地域全体にまたがる国際政治・社会・ビジネスについて学び、教養力と韓国語コミュニケーション能力を培う「アジア専攻」の2専攻体制を取ります。

〈国際日本学科〉日本の文化や歴史、世界の言語としての日本語について言語的・社会的な側面から学び、文字や音声など多様なメディアを通じて、日本語・英語で発信する力を培う「日本発信専攻」、世界の中の日本について、文字文化、視覚芸術、歴史、アニメや漫画などの現代文化について学び、英語・日本語で発信する力を培う「国際発信専攻」の2専攻体制を取ります。

地球社会学部

〈英語キャリア学科〉世界で使われる英語の多様性ととともに、国・地域ごとに異なる文化・社会について英語開講の授業で学び、“グローバルシティズンシップ”を養います。さらに最先端のAIやデータサイエンスの知識、それらを活用するスキルを学ぶことで、世界が抱える課題を幅広い視点から分析・思考し、自らの意見や解決に向けた提案を発信することのできる人材を育成します。

〈グローバルビジネス学科〉グローバルフィールドでのビジネス実務の経験を有する教員とアカデミックな研究を積み上げてきた教員陣が協働し、専門教育を展開。1年次からの一貫した少人数教育を徹底し、ビジネスに関する専門知識を習得します。また、英語をはじめとする複言語の運用能力を高め、グローバルマーケットで求められる人材をめざします。

〈グローバル共生学科〉英語を含む複数の言語と、世界7つの地域から複数の地域を学び、共生に関する学問的知識を多角的に習得。複数の言語や地域を学ぶことで、学習における相乗効果を生むと同時に、世界を複眼的にとらえる力を身につけます。また、世界各地の人々と絆を結び、グローバルな共生社会や企業が抱える課題を解決するために行動できるアクティブな人材を育成します。

〈国際教養学科〉国際社会を深く理解するために「人間・情報・世界」という3つのベクトルで専門教育を展開。座学の講義と国内外のオンサイト(現場)での実践的な演習を通し、生きた専門知識を身につけます。また、世界の人々と交流するためのツールとして、高度な英語運用能力も習得します。

資料請求方法：巻末ページの「パンフレット一括請求」をご覧ください。

留学情報

多彩な留学プログラム

専門分野を学ぶ長期留学として、「スタンダード留学」のほか、ウォルト・ディズニー・ワールド・リゾートでの有給実習を含む「UCR特別留学」、航空サービスに特化した「航空サービス留学」、2つの国や地域に留学できる「2か国留学」、留学先大学と名古屋外国語大の両方の学位の取得をめざす「学位取得留学」などを実施。さらに、現地でのインターンシップを盛り込んだ中期留学、学科ごとの短期留学(海外研修・海外実習)、東京外国語大学への国内留学も実施しています。

“留学費用全額支援”制度

留学先大学の授業料、渡航費、居住費、教科書代、保険料、留学ビザ申請料を名古屋大が全額支援します。返還不要で対象人数の制限もありません。大学が定めた語学試験・GPAの基準を満たすことが条件です。

- * 居住費は留学先大学の標準的な宿舍費を、教科書代は国別の標準金額を支給します。
- * 為替相場の変動により差益、または差損が生じることがあります。

上記については、留学ガイダンスにて説明を行います。

就職GUIDE

航空業界をはじめ幅広い業界・業種への就職を実現

入学時から学年・学科に応じた就職支援をスタートし、各種対策講座や就職イベント、進路・就職に関する個別相談にも常時対応するなど、一人ひとりの学生に合った指導を実施しています。これらの就職支援の成果として、2025年3月卒業生の就職決定率は99.4%と全国平均を上回ります。卒業生は、身につけた語学力・教養・専門性を生かしてメーカーや商社・金融機関・外資系企業をはじめ、航空・旅行・ホテル・物流・教員・公務員などの幅広い業界に就職しています。

主な就職先(2025年3月卒業生実績)

トヨタ自動車、住友電装、興和、岡谷鋼機、三菱UFJモルガン・スタンレー証券、全日本空輸、日本航空、JTB、星野リゾート、リゾートトラスト、マイナビ、コナミデジタルエンタテインメント、LEGOLAND Japan、国際協力機構、愛知県教育委員会、名古屋役所 など

取得できる資格 ※学科により異なります。
中学校・高等学校教諭一種(英語・フランス語・国語)、高等学校教諭一種(中国語・商業)・小学校教諭二種免許状

資格取得支援
TOEFL®、TOEIC®、IELTS™、旅行業務取扱管理者(国内・総合)、通関士、貿易実務検定、秘書技能検定など

就職対策講座
エアライン、マスクミ、公務員、教員など